

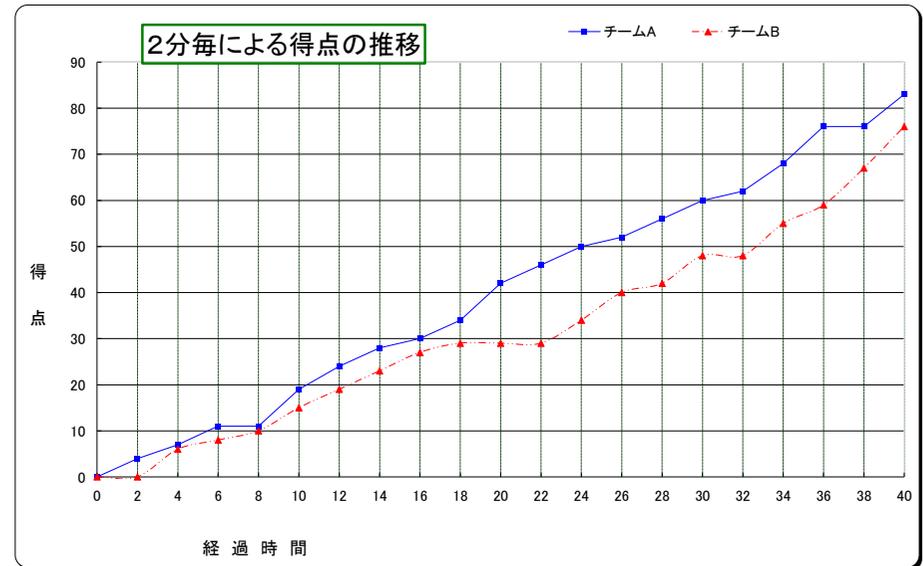
# 平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)  
本庄シルクドーム  
Bブロック1回戦

チームA	83	{	19	1st	15	}	76	15	チームB	
県立太田東 (群馬)			23	2nd	14			23		3rd

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	松田 開夢	12	1	4	3	6	3	5	1	3	9	0	3	0	6
5	齊藤 響	22	0	0	6	12	10	15	1	4	10	0	2	0	4
6	湯澤 響	23	0	2	9	17	5	7	1	1	0	0	2	0	1
7	平田 貴士	0													
8	関根 一輝	12	0	0	6	12	0	0	0	0	1	0	0	0	1
9	井樺 将大	8	0	0	3	9	2	2	1	1	4	0	0	0	1
10	牛久 稜太	0													
11	吉田 智博	0													
12	小林 純也	0													
13	須永 純平	6	0	0	3	5	0	0	1	1	1	0	0	0	1
14	太田 詩紋	0													
15	田村 圭吾	0													
16	須賀 翼	0													
17	新井 大智	0													
18	福田 理久	0													
コーチ	穴原 博之														0
		83	1	6	30	61	20	29	5	10	25	0	7	0	14
		確率	16.7%		49.2%		69.0%			計	35				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	石橋 陸	10	2	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	上甲真之介	19	0	1	9	16	1	1	2	0	1	0	1	1	1
6	阿部 二馬	6	0	2	3	6	0	0	3	2	0	0	1	0	3
7	二通 武史	3	1	4	0	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0
8	栗田 陽介	2	0	3	1	2	0	0	1	2	1	0	0	0	1
9	五明 侃暁	0													
10	小松 史明	12	2	5	3	7	0	0	3	2	6	0	1	0	2
11	高橋 史也	2	0	1	1	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0
12	千葉 勝悟	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	高橋 健太	0													
14	古賀 大樹	5	0	0	2	5	1	2	0	0	1	0	0	0	0
15	濱野 裕稀	8	0	2	3	6	2	2	3	2	2	0	1	1	0
16	館石 瑞紀	3	1	6	0	1	0	0	4	0	2	0	1	0	1
17	川村 謙介	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
18	鈴木 涼	0													
コーチ	飯沼 加寿夫														
		76	8	31	24	50	4	5	18	13	15	0	6	2	8
		確率	25.8%		48.0%		80.0%			計	28				



### 戦評

第1P、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。両チームとも硬さからミスが多く、なかなか得点できない。試合が動き出したのは開始2分、太田東#5、#6のファーストブレイクで得点を重ねる。一方の幕張総合は、#5のジャンプシュートやオフェンスリバウンドからゴール下で得点する。しかし、お互いミスが多く得点を伸ばせない。

第2P、主導権を握りたい幕張総合は、#5にボールを集め、外角のシュートなどで得点していくが、太田東はファーストブレイクを中心に早い展開で得点したり、素早いドライブで得点を重ね、点差を広げる。残り8分で、幕張総合はタイムアウトをとるが太田東の勢いは止まらず、逆に幕張総合はファールが多くなりフリースローを与えてしまう。幕張総合#10のゴール下や#14のジャンプシュートで得点するが、太田東#4の3Pや#13のゴール下、そしてフリースローで得点を重ね42対29の太田東リードで前半終了。

第3P、お互いディフェンスの勢いが強くなりミスを誘う。すると、幕張総合は続けて2本パスミスをし、太田東はそこからファーストブレイクで得点する。流れを変えようと幕張総合がタイムアウト。するとシュートタッチが良くなり、#7、#10の3Pや#4のジャンプシュートが決まりだす。点差が縮まりかけていたが、太田東のオフェンスリバウンドからのシュートや#4のアシストで得点を重ねる。さらに残り3秒、ファーストブレイクで得点し太田東リードで終了。

第4P、両チームとも積極的に外角のシュートを狙っていくがなかなか得点できない。しかし積極的にオフェンスリバウンドに参加し、得点を重ねる。リードしたい幕張総合であったが、パスミスやキャッチミスが目立ち、逆転できない。一方の太田東はテンポの良いオフェンスで得点を重ねる。幕張総合はオールコートマンツーマンに切り替え逆転を試みるが、素早いパス回しでプレスをかわされてしまう。しかし、幕張総合#4の連続3Pで残り2:19で9点差。太田東はたまたまタイムアウト。さらに3Pが決まり、残り1:26で6点差になるが太田東は、フリースローで得点を重ねる。幕張総合は、積極的に3Pを狙いに行き残り48秒で3Pを決めるが、ファールトラブルでフリースローを与えてしまう。激しいディフェンスでミスを誘い積極的にシュートを狙っていくが太田東もリバウンドを確実にし、落ち着きながらボールを展開して逆転を許さず83対76で太田東が勝利した。

記録者: 塩川優太

主審	高橋 滝衛	副審	小泉 登
----	-------	----	------